

ていくことが大切です。

市は、未来に向けて環境にやさしいまちづくりを進めるため新しい環境基本計画をつくりました。この計画は、これまでの計画を踏まえ、自然環境を大切にし資源を再利用して価値のあるものとして循環させ、恵まれた環境を守り、子どもたちやそのつぎの世代にまで引き継ぐことができるような地球にやさしいまちをつくらうとするものです。



この計画の基本となる望ましい環境像はつぎのとおりです。

限りなく伝えよう いい空 いい水 いい緑 そして共生をめざして

く環境を一人ひとりが見て・感じて・考え、ともに行動するまち ちとせく

この環境像は、千歳らしい澄んだ空気やささいな水、身近にある豊かな緑を守り、自然環境と調和しながら良好な環境をつぎの世代に伝えていこうというものです。

この望ましい環境像を目指して、五つの目標を設定し具体的に行動する内容を定めています。



目標の一つ目は「**生活環境と産業が調和した、健康・安全・安心で住みよいまち**」をつくることです。

この目標は、事業者による産業活動や日常生活が空気・水質・水といった生活環境に大きな影響を与えないよう調和させようとするものです。また、快適な緑の空間や水辺への配慮など健康で安心して暮らすことも目指しています。

●みんなで取り組むおもな内容

市民ぐるみで河川清掃を行い、きれいな河川環境を保つとともに、ごみのポイ捨てがないまちにする。

生活排水の環境への影響を考え、洗剤の使いすぎに注意し、使用済みの油は流さないようにする。

自家用車を適切に整備し騒音を減らすとともに、自家用車の購入のときは低騒音のハイブリッド車や電気自動車の導入を検討する。

低農薬・クリーン農業への理解を深め、安全な食材を消費する。

公園整備の意見交換会や美化・清掃活動などに積極的に参加し、安心して快適に使える公園にする。

まちなかを積極的に歩き利用することで、川や緑、まちなみなど千歳の魅力を再発見し、つぎの世代に引き継ぐ意識を高める。